



帝京大学



ブラインドサッカー

集客向上のための施策

～ダイバーシティ推進を目指して～

片上ゼミ

山口達也 佃崇仁 林翔太 河村幸真
北野春統 ◎和田征大 ゼミ生一同

目次

- 緒言
- 研究目的
- 研究の背景
- 研究方法
- 研究結果と考察
- 結論
- 政策提言

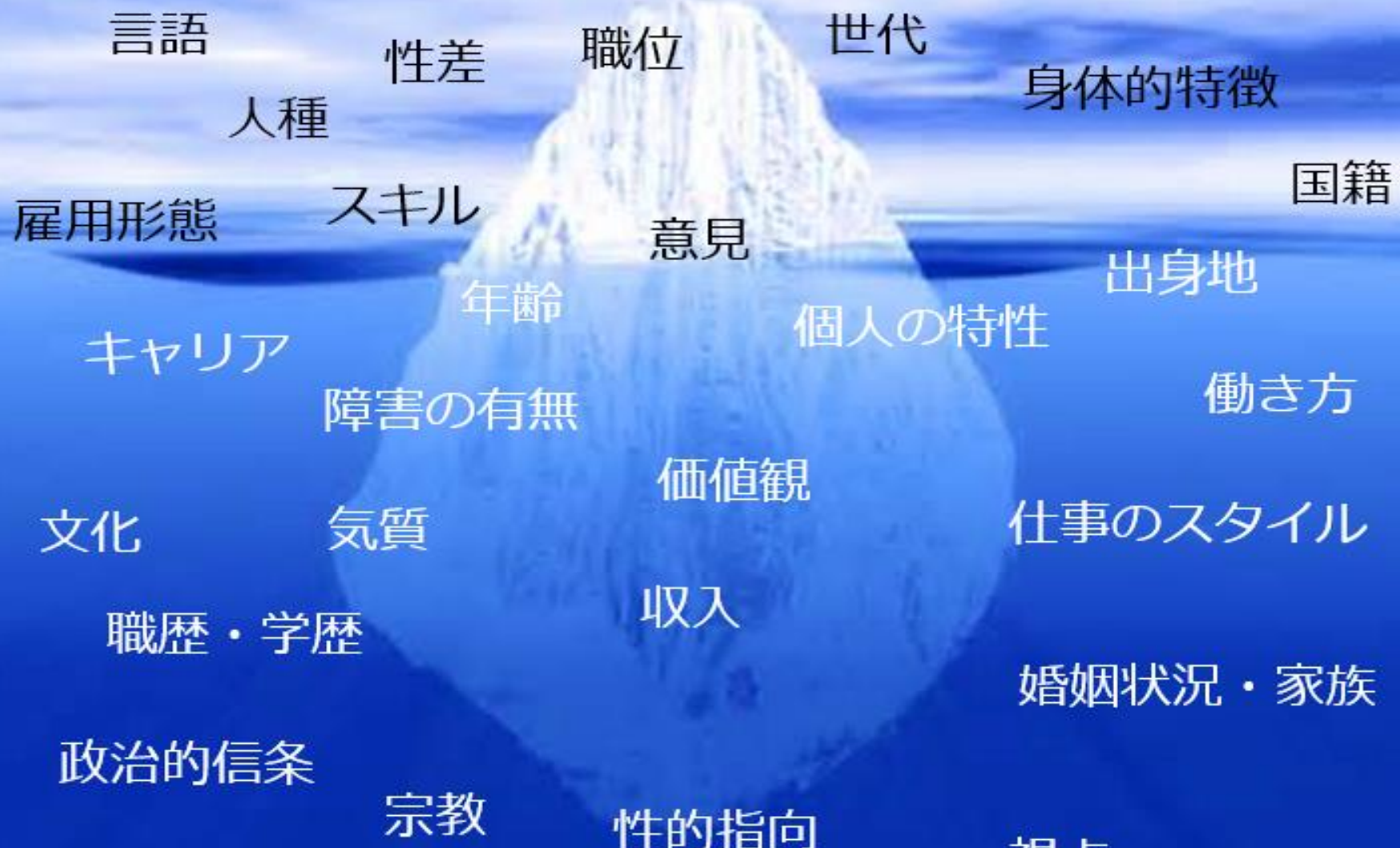


緒言



緒言

ダイバーシティとは？



緒言 オリンピック・パラリンピックでは？

エレナ・デレ・ダン選手（バスケットボール）

トム・ボスワース選手(競歩) 右

難民選手団チームの開会式入場行進



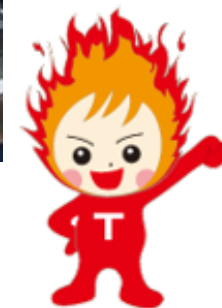
HUFFPOST

©UNHCR/Benjamin Loyseau

国連UNHCR協会HPより

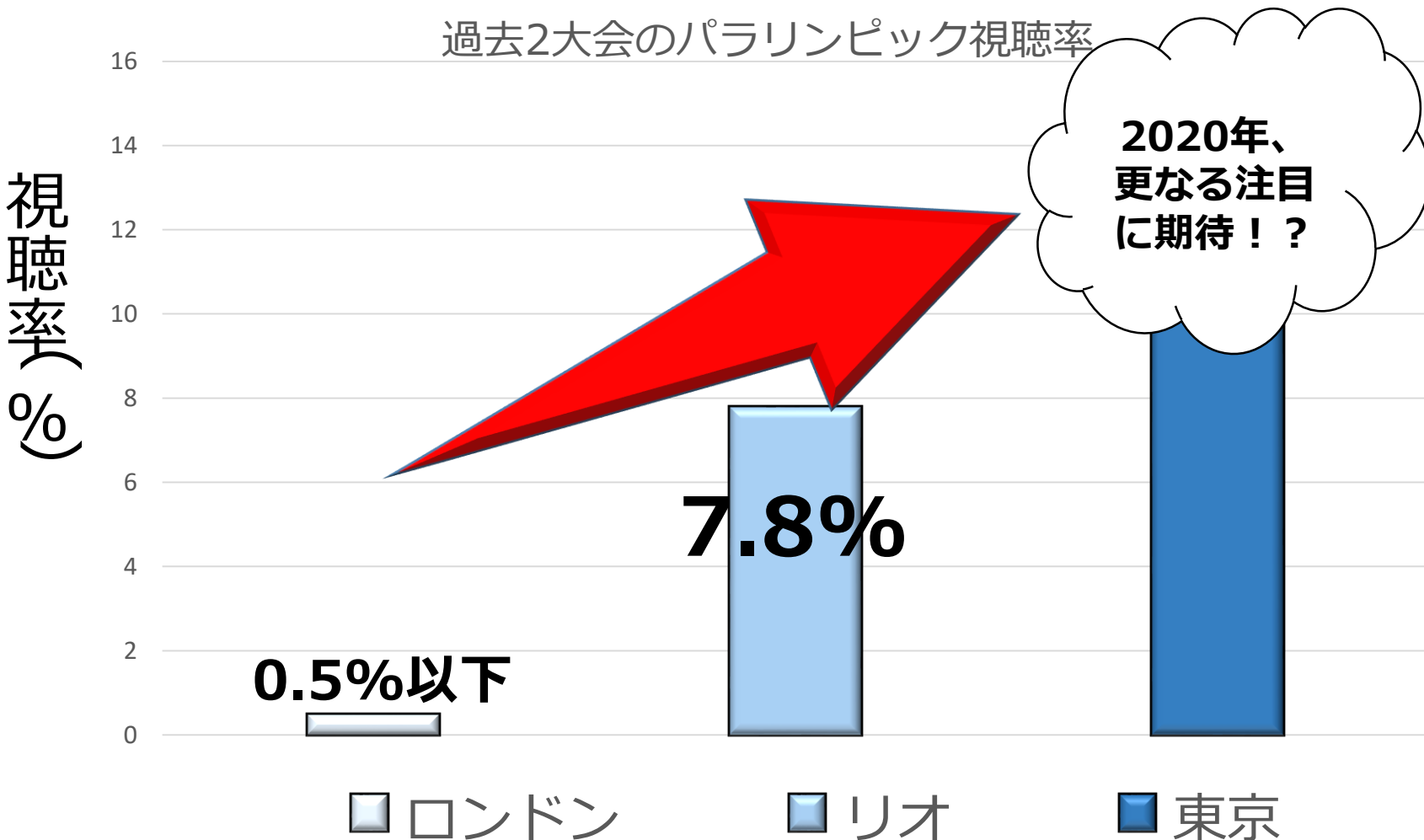


<https://twitter.com/TomBosworth>



緒言

パラリンピック視聴率



緒言

障がい者スポーツへの理解不足

リオオリンピック・パラリンピック 獲得メダル数

	金	銀	銅	計	国別ランキング
オリンピック	12	8	12	41	6位
パラリンピック	0	10	14	24	16位タイ

JOCからの報酬

	金	銀	銅
オリンピック	500万円	200万円	100万円
パラリンピック	150万円	100万円	70万円



緒言 ブラインドサッカー協会の取り組み

ダイバーシティ事業部とは・・・

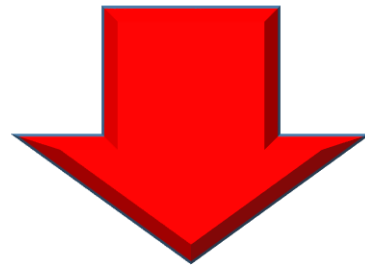
晴眼者へのブラインドサッカー普及を目的とし、晴眼者を対象にスポ育プロジェクト、出張授業、社員研修、啓発イベントなどを行う。

ミッション：ブラインドサッカーの楽しさを伝えることを通して、視覚障がい者と交わる具体的な機会を促進する。

体験会 (OFF TIME BIZ)



**「ブラインドサッカーを通じて、
視覚障がい者と健常者が当たり前に
混ざり合う社会を実現すること」**



ダイバーシティの促進



緒言

ブラインドサッカーについての情報収集



ブラインドサッカー 大会別来場者数

2016年3月	2016年7月	2016年9月	2016年10月
KPMGクラブ チャンピオンシップ	アクサブレイブカップ 日本選手権	東日本リーグ @広尾中学	東日本リーグ @慶応大学
1,289人 (2日間)	3,347人 (2日間)	50人	150人

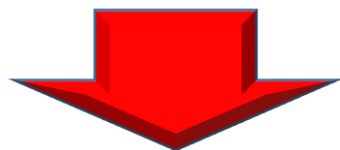
2014年	2015年
IBSAブラインドサッカー 世界選手権	IBSAブラインドサッカー アジア選手権
7,988人 (9日間)	6,491人 (6日間)

研究目的

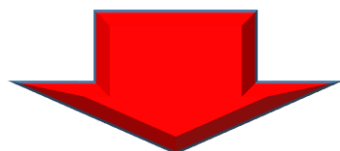


研究目的

- ①集客数向上
- ②応援スタイル、グッズの制作



ブラインドサッカーの知名度UP



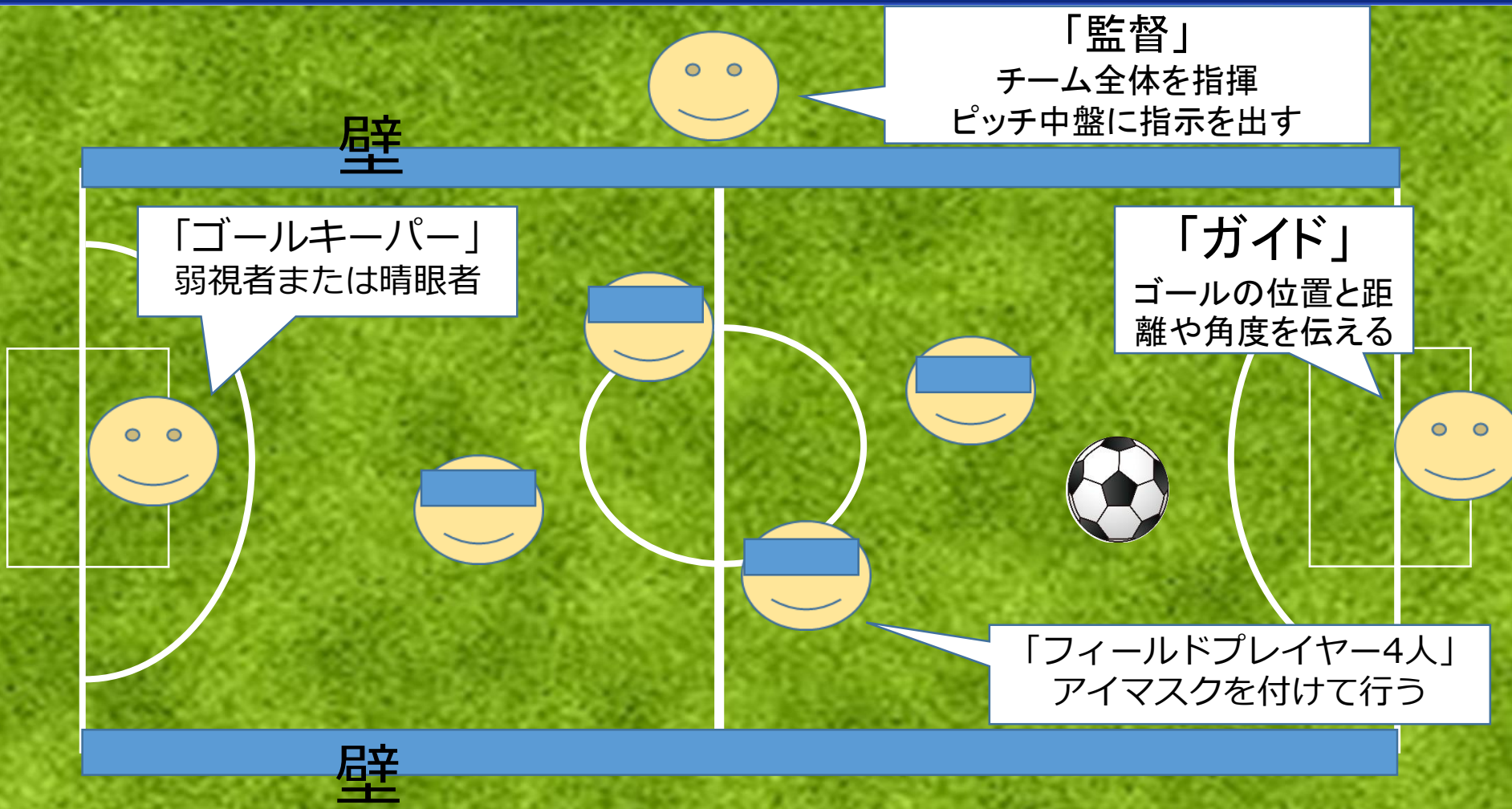
ダイバーシティの発展に繋げる



研究の背景



研究の背景 ブラインドサッカーとは



研究の背景

日本選手権@ アミノバイタルフィールド



研究の背景 東日本リーグ ボランティア活動



研究の背景

ブラインドサッカー体験



ブラインドサッカー (SWOT分析)

S【強み】

- ・ 高度なテクニック満載の
見ごたえのあるサッカー
- ・ 障がい者と接することが出来る
- ・ 老若男女、障害有無など関係なく
誰でもできる

W【弱み】

- ・ プレイ中の応援、音出し禁止
- ・ 選手と共感しづらい
- ・ 知名度が低い

O【機会】

- ・ ダイバーシティ事業の普及
- ・ 2020東京パラリンピック開催
- ・ SNSの発達

T【脅威】

- ・ メディアへの露出が減った
- ・ 他の障がい者スポーツの台頭
- ・ 継続的な盛り上げりに欠ける



ブラインドサッカーの持つ価値 (バリューコーン)

ターゲット顧客

社会貢献に興味のある人・
スポーツの好きな人・若者

中心的
価値

多様性を兼ね備えた
スポーツ

情緒的価値

コミュニケーション力
や判断力の向上

機能的価値

聴覚情報とスタッフの
サポートが大切

スペック

健常者も手軽に体験できる

資産

「音」と「声」のコミュニ
ケーションが大切なスポーツ



研究方法



(1)観戦理由・満足度調査

第15回ブラインドサッカー日本選手権

実施日：2016年7月9,10日

場所：アミノバイタルフィールド

項目：観戦理由・満足度など

(2)応援方法調査

ブラインドサッカー東日本選手権2016

実施日：2016年10月1日・22日

場所：慶應大学日吉キャンパス他

項目：楽しいと思う瞬間・不満なことなど



研究方法

ブラインドサッカー専用 ボールに関するインタビュー調査

訪問先：株式会社イミオ

日時：2016年9月7日 13時～14時

方法：半構造化インタビュー

質問内容：ボールの構造、製造方法、入手方法など



株式会社イミオHPより

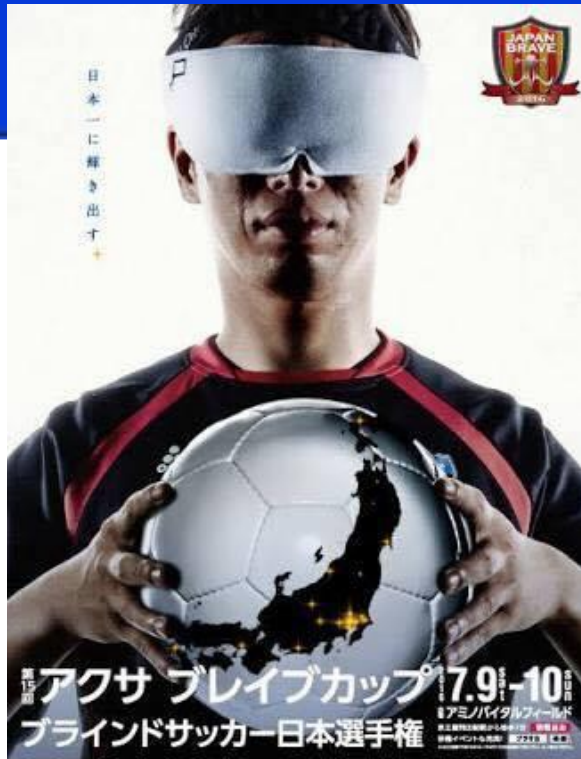


Sfida HPより

株式会社イミオは
ボールやアパレル
商品を製作してい
るSfidaなどを運
営しているボー！



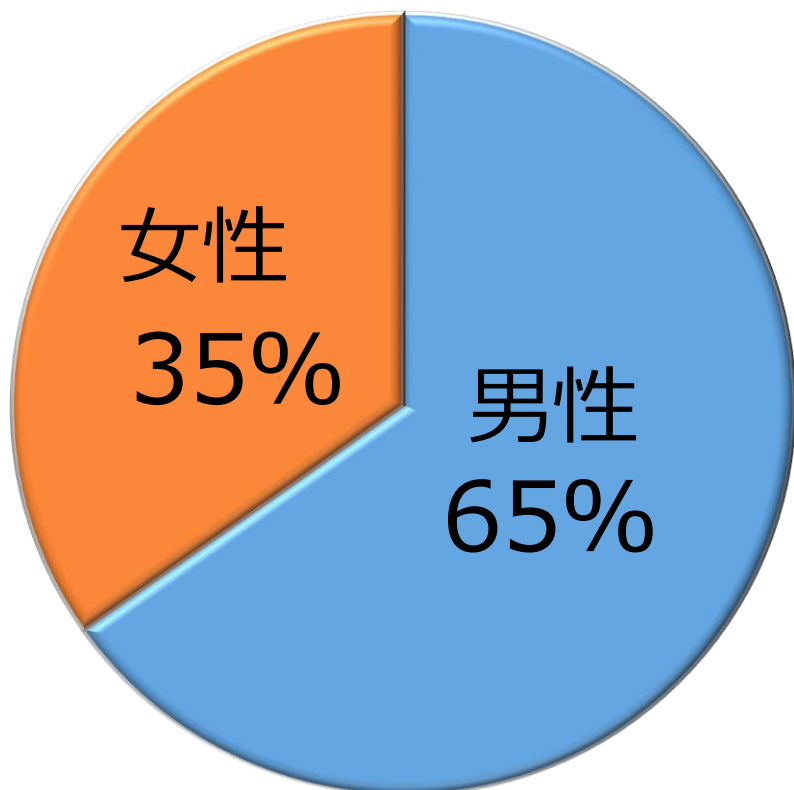
研究結果と考察



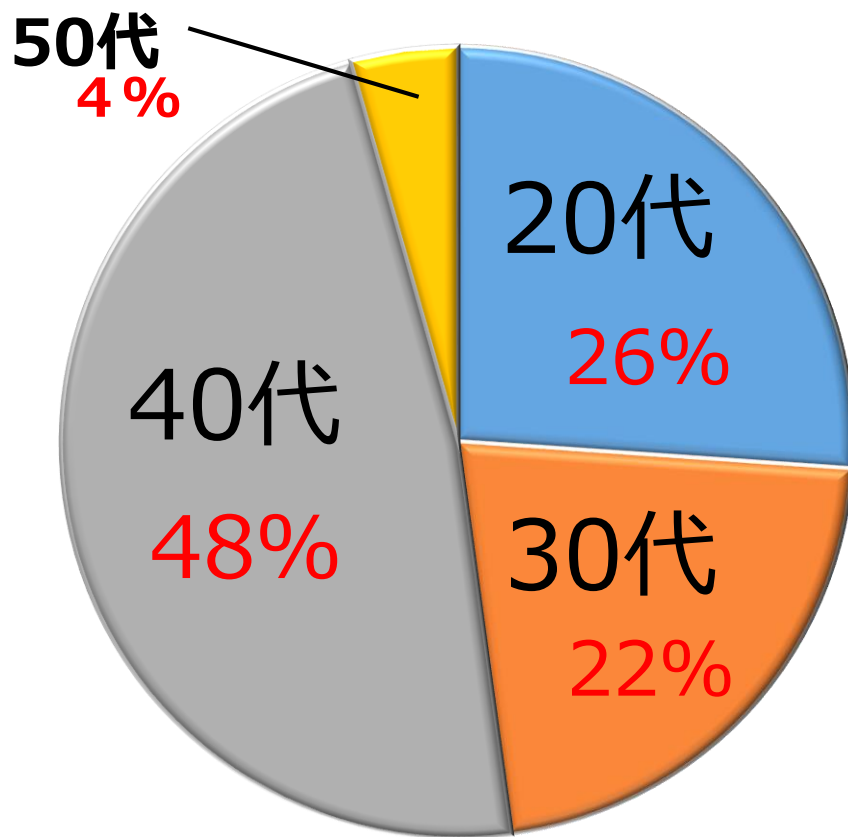
観戦満足度調査

～日本選手権～

【性別】



【年代】



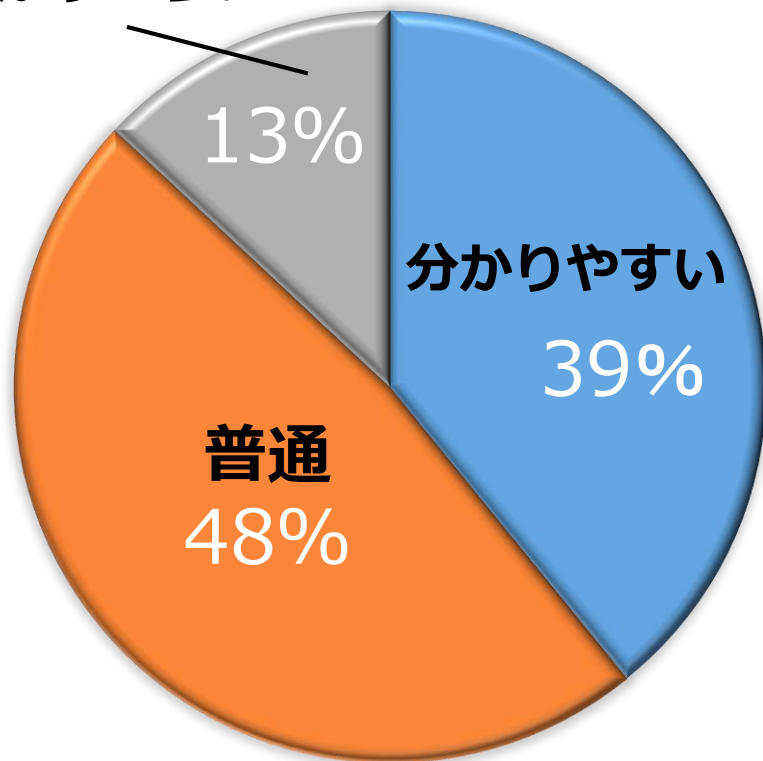
⇒観戦者の属性が30～40代、男性が多い

観戦満足度調査

～日本選手権～

【アクセス】

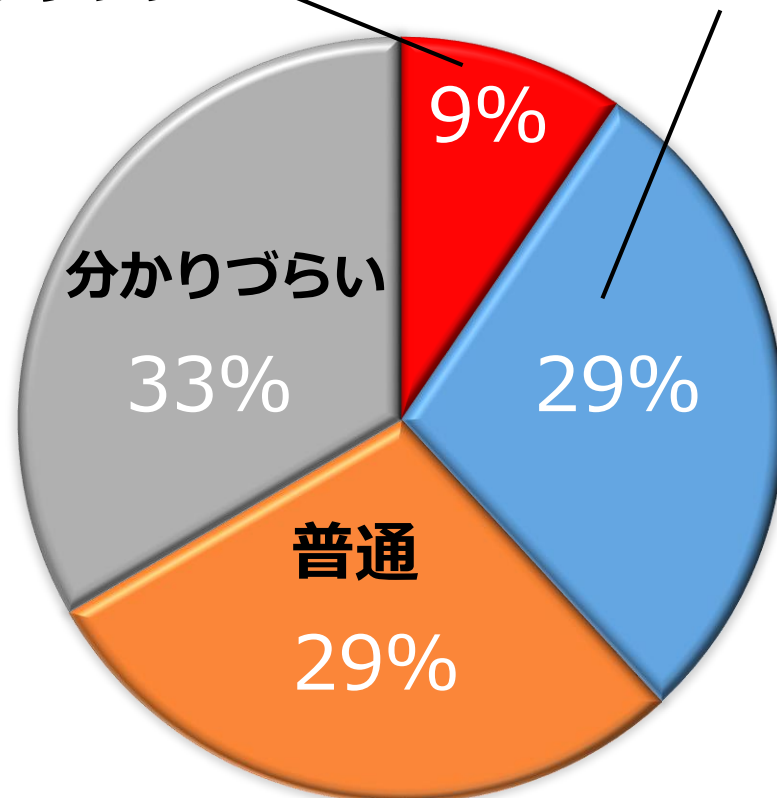
分かりづらい



【案内】

大変分かりやすい

分かりやすい

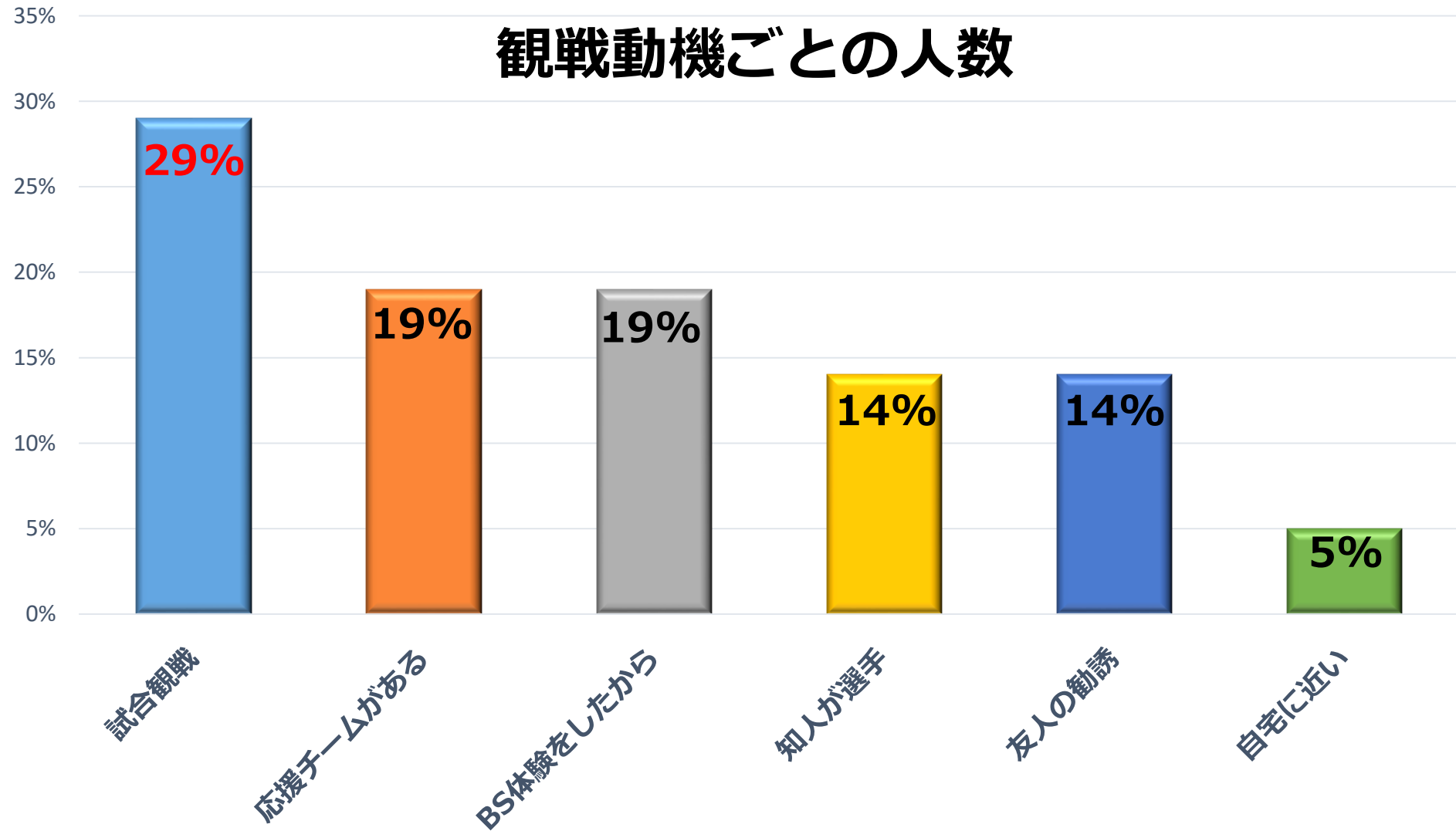


⇒アクセス・案内が比較的分かりやすい

観戦満足度調査

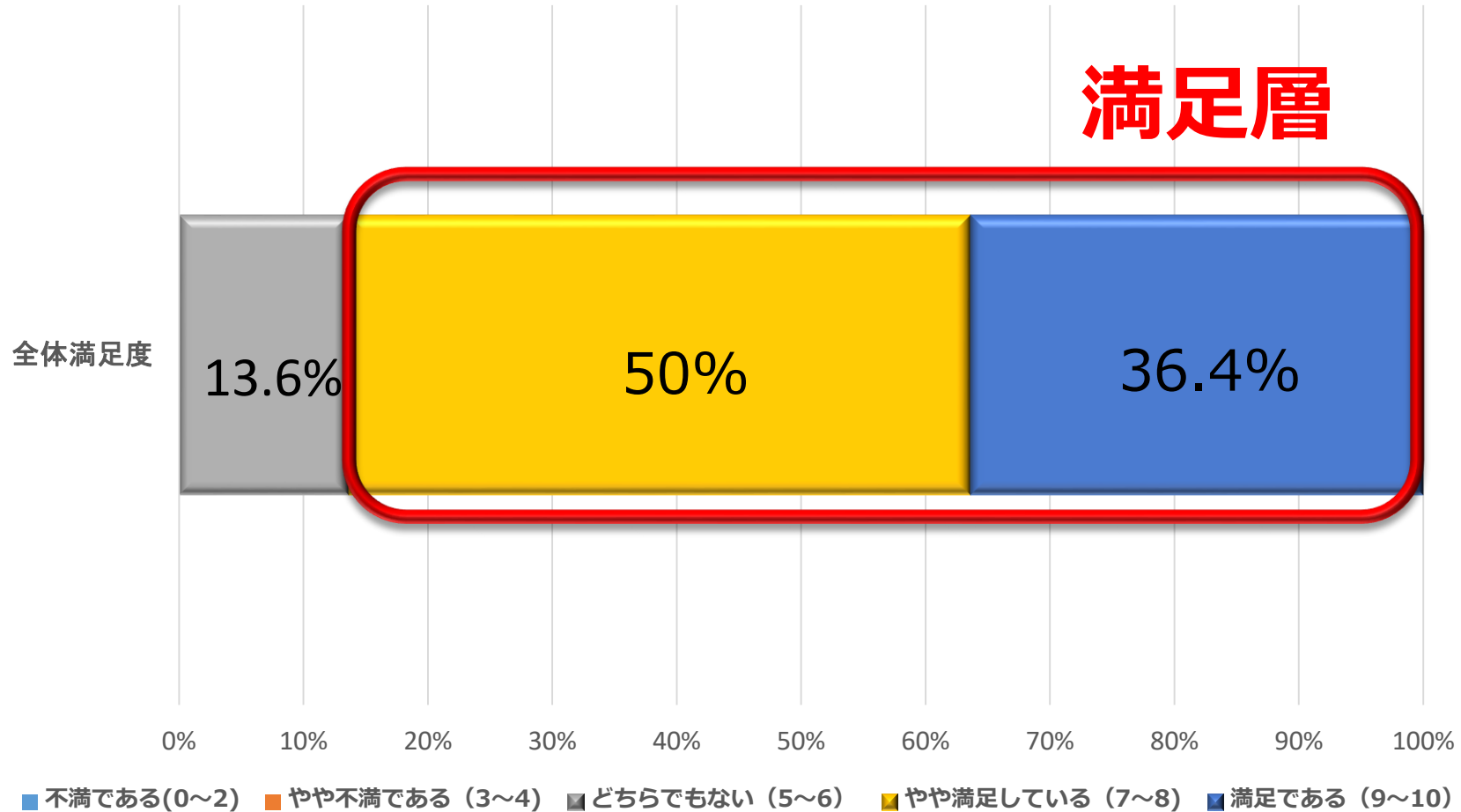
～日本選手権～

観戦動機ごとの人数



観戦満足度調査

～日本選手権～



研究結果と考察 ブラインドサッカー日本選手権 アンケート結果からの結果

- 主に試合観戦目的
- 満足度が高い
- 観戦者の属性が30～40代、男性が多い

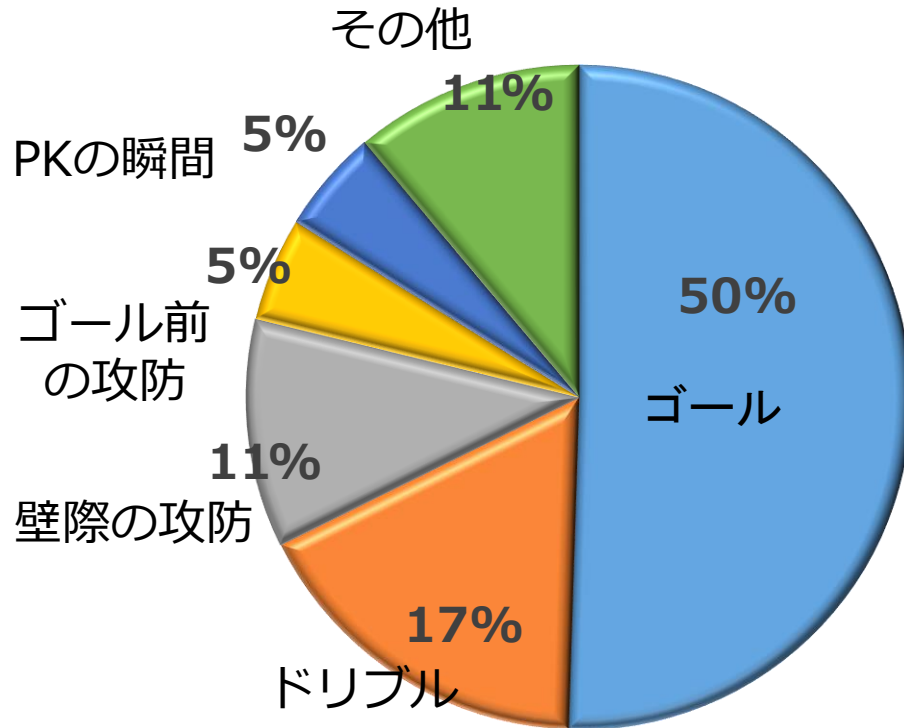


若者・女性の観戦者が少ない

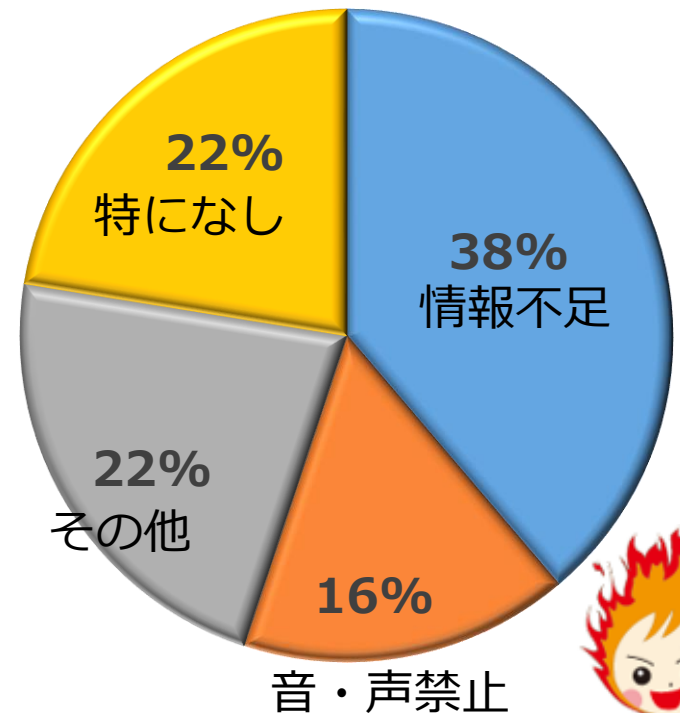


応援グッズを通して、
若者・女性層を巻き込む工夫が必要

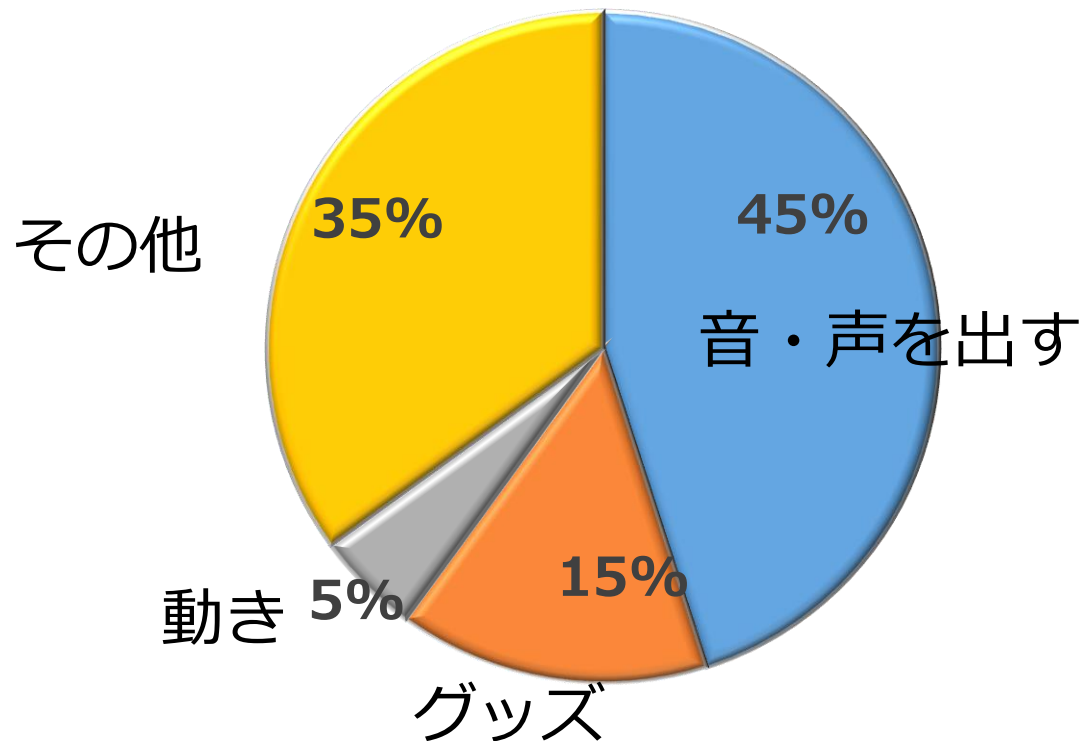
応援中、最も盛り上がる瞬間は？



応援中、不満に感じることは？



応援に取り入れたいと思うもの



研究結果と考察 ブラインドサッカー東日本リーグ アンケート結果からの考察

全日本選手権アンケート結果

東日本リーグアンケート結果

観戦満足度は高い

→
しかし

応援満足度は
低いんじゃないか…??

応援満足度を高める為に

独自の応援グッズを考案



研究結果と考察

ブラインドサッカー東日本リーグ アンケート結果からの考察



いつ

どのように

どのくらい

株式会社イミオ 半構造化インタビュー

- ・音のなる仕組みは？

貝のような鈴が7つ入っている
その1つずつに鉄球が10個ほど入っている

- ・製造場所は？

ボール・鈴ともにパキスタンで製作している

- ・製造方法は？

手縫いでの製造 そのため大量生産困難



株式会社イミオ 半構造化インタビュー

応援グッズにボールの鈴を組み込みたかったが…



使用するのは不可能

そこで独自に応援グッズを
制作することにした。

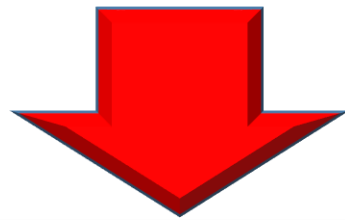


結論



ブラインドサッカーは...

多様な人がコミュニケーションを
取ることで成立する



ダイバーシティを広める
ツールとしての可能性がある



ブラインドサッカー 現状と課題

認知度が低い



ルールなどの
周知が不十分

そのために...

競技を分かりやすく伝える

観戦グッズ・スタイルの確立



政策提言



協会・チーム専用エリア

ガイド

ガイド

応援エリア



①いつ・どのように
に・どのくらい応援
していいのかわかる

②初観戦者でも
参加しやすい

③BS 独自の応援グッズ・スタイルの定着・普及に繋がる

④応援ボランティアによる試合解説も可能



応援グッズの開発

- 観客と選手の一体感(応援スタイル)
- 低コスト、デザイン性が高い、手軽
- ブラインドサッカーらしさの実現
⇒ボールに入ってる鈴を再現

振ると音のなるフラッグ



+



リオ・パラリンピックのメダル

- ・ 振ると音が鳴るような仕組みになっている
- ・ 視覚障がい者の人でも色の違いが分かるようメダルに色ごとに音の種類が違う



競泳 銀メダル獲得トロン・ダレイク選手



メダルの中身



筒状の柄の上部には鉛玉を入れ、ぶつかることにより音が鳴る

持ち手の部分には点字でブラインドサッカーのビジョンなどを記入する

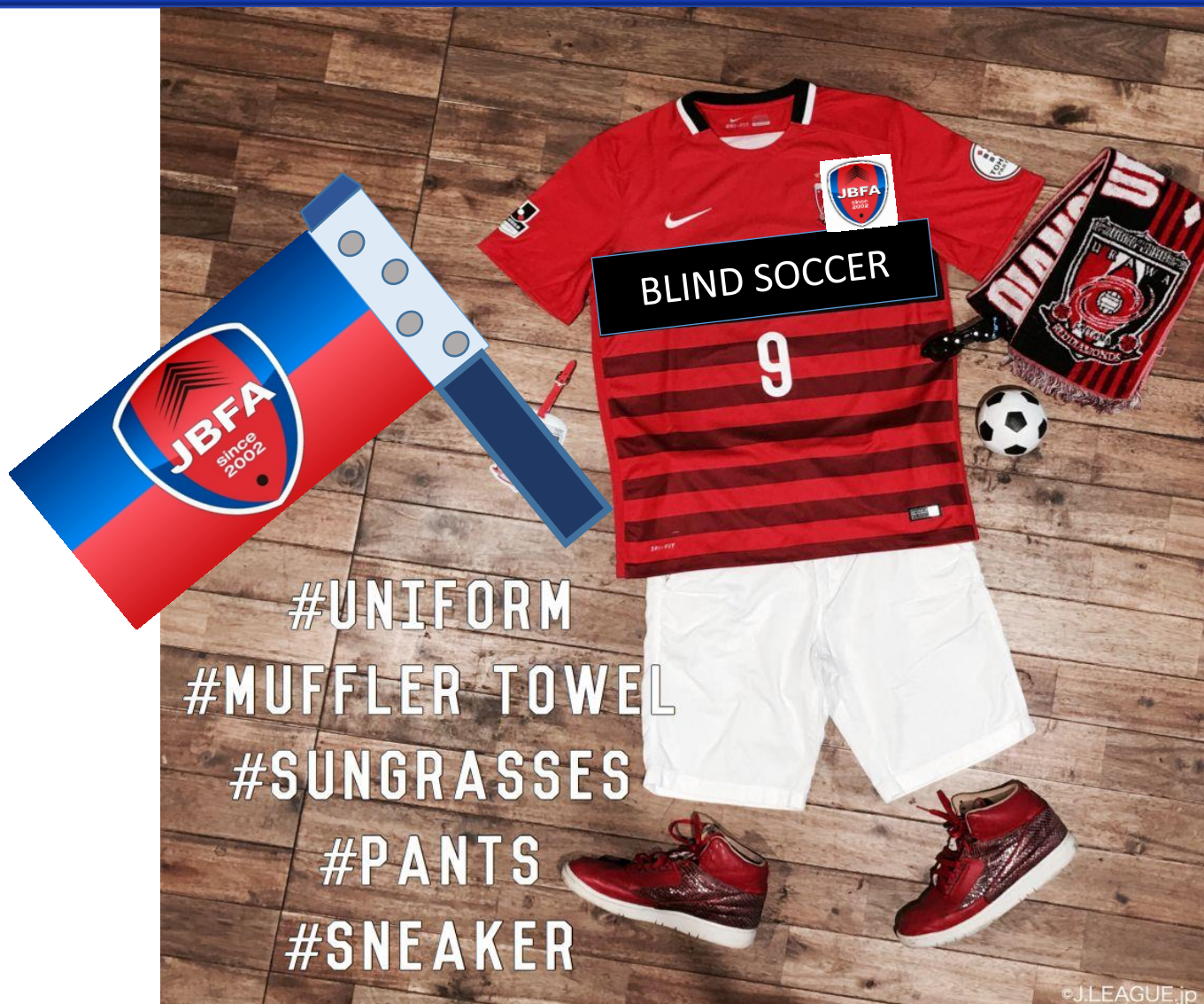


【旗のデザイン】

- ・ブラインドサッカーのシンボルやチーム独自のもの
- ・旗にも布で点字を記入することが出来る



フラッグの使用例



過去の事例

ブラインドサッカー日本代表
アンセム制作プロジェクト



713,500円



知的障がい者女子ソフトボール
チーム発足プロジェクト



840,000円



1. 具体性

集客増のための
グッズ製作

2. 共感の得やすさ

ダイバーシ
ティ理念

3. 情報発信力

SNS等での
拡散

参考文献

- ・クラウドファンディング-READY FOR <https://readyfor.jp/> (閲覧日：2016年10月24日)
- ・Imioホームページ <http://imio.co.jp/> (閲覧日：2016年10月25日)
- ・株式会社FeelWorks 前川孝雄 猪俣直紀 大手正志 田岡英明(2015)
この一冊でポイントがわかるダイバーシティの教科書
第7章 p. 163-186 総合法令出版株式会社 (閲覧日：2016年8月30日)
- ・企業・団体様向けブラインドサッカー体験型研修 OFF TIME BIZ
<http://www.biz.offtime.jp/index.html> (閲覧日：2016年10月17日)
- ・公益財団法人 日本オリンピック委員会 <http://www.joc.or.jp/> (閲覧日：2016年10月16日)
- ・国連UNHCRホームページ <https://www.japanforunhcr.org/> (閲覧日：2016年10月24日)
- ・日本ブラインドサッカー協会ホームページ www.b-soccer.jp (閲覧日：2016年10月25日)
- ・ノバルティス、ダイバーシティ世界一の企業
<http://sustainablejapan.jp/2014/09/14/diversity1/11932> (閲覧日：2016年10月22日)
- ・リオパラリンピックLGBT HUFFPOST <http://m.huffpost.com/jp/entry/11984256>
(閲覧日：2016年10月25日)
- ・Sfidaホームページ <http://sfidasports.com/> (閲覧日：2016年10月25日)
- ・多様性適応力評価尺度の開発と適用の試み-日本ブラインドサッカー協会のワークショップを対象として." スポーツ産業学研究 25.2 (2015): _277-2_291. (閲覧日：2016年10月24日)